

今治市公共施設マネジメントシステム導入構築業務 評価項目及び評価基準

1 目的

本評価基準は、「今治市公共施設マネジメントシステム導入構築業務に係る公募型プロポーザル」における受託候補者の選定にあたり、その評価項目及び評価基準をあらかじめ明らかにすることで、公平性・客観性を確保することを目的とする。

2 選定方法

市が参加資格を有する者として認めた者は、市の職員で構成する「今治市公共施設マネジメントシステム導入構築業務プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）」において行う、①プレゼンテーション評価、②機能評価、③価格評価の各評価点を合計した総合評価点が最も高いものを受託候補者とする。

なお、受託候補者に選定されたものが辞退した場合、若しくは参加資格要件を満たさなくなった場合は、次点者を受託者として選定するものとする。

3 評価点の配分

各評価における評価点の配分は、以下のとおりとする。

＜総合評価点（550点満点）＝①＋②＋③＞

評価項目	配点数
① プレゼンテーション評価	300点
② 機能評価	200点
③ 価格評価	50点

4 プレゼンテーション評価

（1）概要

企画提案書及びプレゼンテーションの内容について評価を行う。

（2）評価方法

選定委員会の委員（以下、「選定委員」という。）が、各評価項目について採点を行い、選定委員全員の合計点を選定委員の数で除した点数（小数点以下の端数は、小数点第1位を四捨五入して算出する。）をプレゼンテーション評価点とする。

なお、各評価項目は、次表のとおり、5段階で採点するものとする。

A	特に優れており十分満足できる提案である	配点×1.0
B	優れている	配点×0.8
C	普通である	配点×0.6
D	やや劣っている	配点×0.4
E	劣っている	配点×0.2

(3) 企画提案書の構成及び評価概要

企画提案項目			評価概要
項番	大項目	小項目	
1	業務遂行	業務推進体制	会社の規模、経営状況、従業員体制その他の項目等から、本業務を確実に遂行できる能力・体制が整っているか。
		基本方針	本業務の目的に沿った方針やコンセプトとなっているか。
		履行実績	提案業者の類似業務の履行実績は、豊富であるか。
2	導入・運用支援	業務スケジュール	スケジュール案が具体的に示され、その内容は本業務の遂行に支障のないものであるか。
		業務管理・運営方法	進捗管理及び品質等のプロジェクト管理・運営保守の方法が具体的に示され、その内容は妥当であるか。
		サポート体制	既存システムからの施設情報の取り込み・入力にかかる職員負担の軽減、システム習熟を図る研修、運用にかかるマニュアルや相談体制は十分なものであるか。
		更新等の対応	提案するパッケージ製品のバージョンアップ（リビジョンアップ）の適用、カスタマイズ、更改時の追加費用について、また、運用保守終了後の時期システムへの引継ぎ支援等、妥当な考え方であるか。
3	システム概要	画面構成	画面の構成、操作手順が、直観的にわかりやすいものとなっているか。ドロップダウンやエラーメッセージ等入力ミスを回避する工夫がなされているか。業務を行うのに効率的なメニュー配置となっているか。
		年次処理機能	excel、csv データを用いた更新方法等、職員の負担軽減を図るための工夫がなされているか。また、抽出項目が多数用意されている等、データ抽出機能等（excel、csv 出力・帳票出力）は充実しているか。
		施設管理情報	公共施設、建築物等の情報、利用状況、修繕・点検履歴、利用料等の収入、光熱水費や法定点検費用、修繕費用などの入力項目、データは分かりやすく、かつ充実しているか。
		評価検討機能	予防保全費用、更新費用等、将来発生する費用の試算や、利用状況・コスト等から施設の評価、施設別カルテを自動作成する機能は充実しているか。
4	その他	通常管理	公共施設の一元管理・共有化により、日々の管理業務を効率的に実施できる内容であるか。
		利活用	公共建築物の総床面積の削減に対して、施設の更新・集約・廃止といった判断の助けとなる機能や、有効的な活用方法を提案できているか。
		職員負担	職員の負担軽減、効率的に行うための工夫に関する方策が具体的に示され、その内容は実効性のあるものであるか。

5 機能評価

(1) 概要

提案者から提出された基準仕様書で指定する別紙1「機能要件書」に基づき評価を行う。

(2) 評価方法

事務局が提案者から提出された「機能要件書」に基づき、次の計算式により算出された結果を機能評価点とする（重要機能 32 項目、推奨機能 10 項目）。なお、必須項目は原則全て対応すること。

ア 機能評価（計算式） ※小数点以下の端数は、小数点第1位を四捨五入して算出する。

機能評価点＝200 点×（機能要件書の獲得点数／機能要件書の満点＜200 点＞）

イ 各機能の評価点

区分	内容	重要機能	加點機能
◎	本業務の委託内で実現可能な場合 (パッケージ標準のみ)	5 点	4 点
○	本業務の委託内で実現可能な場合 (オプション、カスタマイズ等)	4 点	3 点
×	上記「◎」「○」以外の場合	減点 4 点	0 点

6 価格評価

(1) 概要

提案者から提出された「見積書」に基づき評価を行う。

(2) 評価方法

事務局が提案者から提出された「見積書」に基づき、次の計算式により算出された結果を価格評価点とする。

ア 価格評価（計算式） ※小数点以下の端数は、小数点第1位を四捨五入して算出する。

価格評価点＝50 点×（全事業者の提案見積額のうち最低見積額／提案者の見積額）

イ 価格評価は、導入構築に対する費用、運用保守に対する費用について、それぞれの上限額を超えないことに加え、これらの合計額（総額）により評価を行うものとする。

7 最高得点者が2者以上あった場合の決定方法

(1) プレゼンテーション評価点の高い順に受託候補者及び次点者を決定する。

(2) (1) により決定しない場合は、価格評価点の高い順に受託候補者及び次点者を決定する。

(3) (2) により決定しない場合は、各評価及び追加提案等を総合的に判断し、受託候補者及び次点者を決定する。

8 参加者が1者の場合の取扱方法

プレゼンテーション評価点及び機能評価点がともに、6割以上の評価点である場合契約候補者として決定する。

9 その他

(1) 評価は全て非公開で行うものとする。

(2) 提案者は、評価に対して異議申し立て等はできないものとする。